

平成21年度実施 地域ICT利活用モデル構築事業 成果報告書

実施団体名 美唄市

代表団体名 同上

事業名称 美唄郷土情報による地域活性化モデル事業

1. 事業実施概要

全国有数の炭鉱地域で栄えた美唄市は、昭和30年代の9万人をピークに、その後の閉山に伴う人口の減少が止まらず、現在では約2万7千人となっています。しかしながら産業においては炭鉱から農工一体による産業転換を図り、特に現在の基幹産業となった農業では、北海道における優良な穀倉地帯としての地位を確立して参りました。近年では、「おぼろづき」「アスパラ」「ハスカップ」などの農産物や歴史ある「やきとり」「とりめし」などが札幌で評判になるなど、地域ブランドになりえる特産品が出てきており、この魅力ある農産物・特産品や地域資源などの知名度を向上させ、地域の活性化を図るべく、ICTを利活用した「美唄郷土情報による地域活性化モデル事業」の推進に取り組んで参りました。事業で構築した”美唄ファンポータル「P i P a」(ピパ)”では、美唄の農産物・特産品の歴史と魅力、生産者の思いなどを投稿により伝え、観光広報とともにSNSで地域交流を可能とするなど、美唄ファンによるまちおこしを目指しています。

2. 目標の進捗状況

(平成21年度継続事業分)

指標	目標値	結果の数値	達成状況	計測方法・出展等
特産品および農産品等のブランド化に向けた地域課題を解決するためのブランディング、ローカルレシピや生産者情報の登録数	目標：50件 (H19～累計 200件)	75件 累計 271件	○	DB 登録数
観光資源・情報等の課題を解決するための情報の登録数	目標：登録数 50件 (H19～累計 150件)	132件 累計 294件	○	DB 登録数
動画配信件数	配信件数 10件 (H20～累計 20件)	2件 累計 20件	○	
移住情報登録件数 物件数 87+記事 72	登録件数:50件数 (H20～累計 100件)	88件 累計 160件	○	

指標	目標値	結果の数値	達成状況	計測方法・出展等
地場産業 PR 件数	PR 件数：10 件 (H20～累計 20 件)	62 件 累計 79 件	○	DB 登録数
消費者に信頼される安全で良質な農産品、特産品づくりや、安定した経営確立のため優れたバランス感覚を持つ、担い手の育成・確保のための情報登録件数	目標：10 件 (H19～累計 40 件)	11 件 累計 42 件	○	DB 登録数
各種サークルや団体、かつて住んでいた住民などのコミュニティの形成・促進を行うための SNS 情報登録数	目標：100 件 (H19～累計 500 件)	142 件 累計 797 件	○	DB 登録数
「美唄郷土ポータルサイト」を活用する生産者、市民や美唄ファンの会員登録	目標：200 名 (H19～累計 1,000 名)	672 件 累計 1581 件	○	会員登録件数
地域交流機能（SNS）の会員登録数	目標：会員数 50 名 (H19～累計 150 名)	16 件 累計 114 件	△	
ブログによる情報交換数	登録件数：100 件 (H20～累計 200 件)	1080 件 累計 1080 件	○	投稿数+コメント数
美唄の知名度向上を図るための、「美唄郷土ポータルサイト」の全体 PV 数（露出度）	目標：ポータルサイト PV 数 100,000PV／月	328,308PV	○	2009 年 6 月の PV 数
他サイトからの PV 数	目標：他サイトからの PV 数 50,000PV／月	42,101PV	△	2009 年 6 月の PV 数
上記及び協議会活動等により、生産者、消費者、住民の交流を促進し、食を通じた地域の活性化を図るための関係者数	目標：生産者累計 60 人 協議会 16 団体	生産者 70 人 協議会 19 団体	○	事業参加者数
インターネットや農産物直売所にて安全・安心な食品の提供を行うことによる、販売件数および販売額の増加	目標：50,000 千円／年	26,682 千円	×	
安定したサイト運営を行うための広告件数の増大を図る。	目標：10 件	1 件	×	

(平成 20 年度繰越事業分)

指標	目標値	結果の数値	達成状況	計測方法・出展等
SNS システムオープン機能の構築完遂	利用者満足度：70%以上	73%	○	利用者アンケート＝満足/全数
グリーン・ツーリズム支援サブシステムの構築完遂	利用者満足度：70%以上	73%	○	利用者アンケート＝満足/全数

指標	目標値	結果の数値	達成 状況	計測方法・出展等
地図情報登録機能の構築完遂	利用者満足度：70%以上	88%	○	利用者アンケート ＝満足/全数
農産品高付加価値化支援サブシステムの構築完遂	利用者満足度：70%以上	83%	○	利用者アンケート ＝満足/全数
POS 大口注文対応機能の構築完遂	利用者満足度：70%以上	85%	○	利用者アンケート ＝満足/全数
メールマガジン配信サブシステムの構築完遂	利用者満足度：70%以上	90%	○	利用者アンケート ＝満足/全数
美唄地域 ICT 利活用モデル活性化推進協議会の促進	協議会参加団体:16 団体 以上	協議会 19 団体	○	参加団体実績

3. 達成状況が△又は×の場合はその理由

平成 21 年度継続事業目標「地域交流機能（SNS）の会員登録数」において、目標とする累計は 150 件となっておりますが、現在の実績は 114 件です。SNS 会員については地域交流コミュニケーションサブシステムの機能追加で SNS のオープン化を行いました。開発は完了いたしましたが会員への広報が行き届いてなく、平成 22 年 4 月 1 日に正式なアナウンスとともにトップページ等のリニューアルを行う予定であり、以降順次を増加することを想定しています。

平成 21 年度継続事業目標「他サイトからの PV 数」において、目標とする PV 数は 50,000PV となっておりますが、平成 21 年 6 月の実績としては 42,101 件です。これについても上記同様に、リニューアルアナウンスとともに上昇することを見込むとともに、時期によるアクセス分析等を行い、SEO などの対策を進めていくことで数値をクリアしたいと考えております。

平成 21 年度継続事業目標「インターネットや農産物直売所にて安心・安全な食品の提供を行うことによる、販売件数および販売額の増加」において、目標とする金額は 50,000 千円となっておりますが、平成 22 年 3 月末までの実績としては 26,682 千円です。目標である 50,000 千円に届かなかった理由としては、平成 19 年度に作成した当初企画書作成時点では、大規模な農産物直売所「食の駅」の建設が予定されていたことから、販売額等の目標値を設定しておりましたが、厳しい財政状況の中、平成 21 年度に策定した「食の駅基本構想」において、農産物・特産品の販路拡大・PR や加工品開発など、様々なソフト事業を展開し、その成果を踏まえて、施設建設を検討することとしたところです。この考えに基づき、平成 21 年度には小規模直売所として「地場産品アンテナショップ PiPa」を 7 月に開設するなどソフト事業の展開を図りながら、今後とも目標達成に向けた取り組みを行って参ります。

平成 21 年度継続事業目標「安定したサイト運営を行うための広告件数の増大を図る」において、目標とする広告数は 10 件となっておりますが、中間期の実績としては 1 件です。バナー広告の趣旨説明やお願いなどの宣伝活動に注力できなかったことが原因と考えます。来期は記事広告との提携バナーなどの営業に注力したいと考えます。

< 委託業務説明書 >

1 平成 21 年度事業実施において明らかとなった課題

1-1 平成 21 年度中の課題について

平成 21 年度事業実施にあたり、以下の項目について課題を整理し、課題解決に向けて農業及び商工団体、生産者、消費者等と協働で取り組みを進めてきました。また、これらの課題解決の支援ツールとして、ICT 利活用によるシステム開発及び機能拡充を行いました。

(1) 交流活動の活性化

【課題】

関東、関西などの都市圏に隣接する中学校や高校は、自然が豊かな北海道を修学旅行先とすることが多く、近年ではその宿泊先に農業体験を伴う農家民泊を組み合わせたケースが増加しています。美唄グリーンツーリズム研究会は美唄に在住する農家など 49 戸で構成（平成 22 年 3 月現在）し、北海道外から美唄市での民泊を希望する修学旅行生について、年間 523 人（平成 21 年度実績）を受け入れています。美唄の農家民泊における評価は高く、毎年同学校からのリピートも多いため利用者は年々増加の傾向を見せています。また、近年、一般旅行者の農家民泊へのニーズも増えつつあります。しかし、一方では受け入れ側となる農家の人員確保や体制及びメニューづくりなど様々な課題を抱えており、観光客等がその周辺の観光情報を手軽に入手できる手段を併せて検討することが必要でした。

【解決方策】

グリーンツーリズムメニューを拡充するための取り組みとして、地図基本サブシステムの機能追加を行いました。これは美唄の観光拠点を地図上で結ぶことで、ルートの表示や検索などを可能としたもので、グリーンツーリズム支援サブシステムでの利用を想定したものです。グリーンツーリズム支援サブシステムは美唄の観光拠点をつなぎ合わせて、利用者がオリジナルの観光ルートを作成することが可能となるものです。

作成した観光ルートを美唄観光のテンプレートとすることで、地域住民が気づかなかった観光ルートが形成され、バラエティに富んだメニュー開発に貢献できるものと考えます。

また、関連事業において、「アルテピアッツァ美唄」やラムサール条約登録湿地「宮島沼」、「地場産品アンテナショップ PiPa」などの交流拠点で、立ち寄った観光客に情報を提供するためのデジタルサイネージや無線 LAN スポットを提供したほか、民泊受け入れ農家の拡大を図るためのセミナー等を開催し、11 戸の市内農家が農家民泊許可を取得しました。

平成 21 年度の課題（上記から）	実施した対策
- 受け入れ農家の体制づくり - 美唄での観光情報提供の必要性	- 地図基本サブシステムの機能追加 - グリーンツーリズム支援サブシステムの拡充 - デジタルサイネージを利用した拠点からの情報配信（※関連事業により実施） - 無線 LAN 情報スポットの設置（※関連事業により実施） 11 戸の農家が農家民泊許可を取得（※関連事業により実施）

(2) 地域経済の活性化

【課題】

農産物直売所である「ぴばまーと」や「アンテナショップ P i P a」などで季節ごとに販売される農産物は、近年の自然派志向の高まりと相まって人気が高く、土日などは開店後から午前中で商品がなくなり、一日に何度も入荷を繰り返すこともありましたが、しかしながら美唄自体を知らない一般の消費者には“美唄産”の商品として差別化が図られているとはいえ、地域の魅力が十分に伝わっていないのが現状で、美唄の豊かな、魅力ある農・特産物の高付加価値化を考えると、美唄の農産物そのものに対する評価を向上させる必要があると考えています。

また、美唄の農産物直売所では近隣の宿泊施設、レストラン、法人等から大口注文を受けるケースが増加してきましたが、発注対応や販売管理等のシステム化が課題となっていました。

【解決方策】

大口注文については、地域で採れた安全・安心な食材の情報をリアルタイムに提供していくこと、必要時にすばやくアプローチ可能なことを目指し、農産品・特産品販売管理サブシステムの機能拡充として大口注文対応機能を開発しました。この機能は POS レジでの掛売りなどにも対応し、直売所事務業務の省力化と戦略的販売促進ツールとなります。

また、美唄の農産物としての販路拡大への可能性が期待できる「ハスカップ」や「米粉」などの素材について深く掘り下げ、知見を蓄えた情報データベースともいえる農産品高付加価値化支援サブシステムを開発し、農産物の高付加価値化を図りました。

販売促進に寄与できるシステムとしては、メールマガジン配信サブシステムを開発し、ネットワーク上に情報のプッシュ配信を行うことが可能となり、地域の商業シーンにおいてより有効なプロモーション活動など、記事やアンケートへの顧客誘導を可能としました。

関連事業として、「美唄まるごとブランド化推進事業」を実施し、美唄の農産物はもとより、食品全般、工業製品、環境、風景に至るまで美唄が自慢のできる”もの”、”こと”について、ブランド化を推進する取り組みを推進しています。

平成 21 年度の課題（上記から）	実施した対策
・さらなる”美唄産”のブランド推進 ・農産物そのものに対する評価を向上 ・大口の注文への対応 ・美唄ファンへの直接的な要求	・農産品高付加価値化支援サブシステム開発 ・農産品・特産品販売管理サブシステムの大口対応 ・メールマガジン配信サブシステム開発 ・美唄まるごとブランド推進事業による検討（※関連事業により実施）

(3) 地域コミュニティの形成

【課題】

平成 19 年度に構築した「地域交流コミュニケーションサブシステム」は、SNS 会員同士の単一な情報コミュニケーションツールとして運用して参りました。

システム公開後、一定の会員数までは順調な広がりを見せましたが、その後継続的に利用者が増えていく状況には難しい現実がありました。ポータルサイト利用者には一般利用者、会員、

SNS会員、マイフレンドと多段的な構成が存在し、情報交流において閉じた制限のなかで行いたい活動や、オープンにしたい情報などの細やかな公開権限付けが必要であることがわかりました。また利用度の高さは利用しやすさでもあり、基本的なユーザビリティについての一部見直しが必要であるとも考えております。

【解決方策】

地域交流コミュニケーションサブシステムの機能拡充によって、町内会などの地域の自治組織や様々なグループ、企業、さらには個人が自由に参加でき、各個人が必要に応じた仲間を持つことが可能となります。地域課題解決のために各々が持つ知恵や経験を持ち寄る場として活動内容や情報の公開・共有が可能となるばかりでなく、新しいコミュニティビジネスの振興が期待できます。

平成 21 年度の課題（上記から）	実施した対策事例
・ 近年の利用度低迷 ・ 情報公開の範囲と権限見直しが必要 ・ ユーザビリティへの見直し	・ 地域交流コミュニケーションサブシステムの機能拡充（権限による情報のオープン化を可能とした）

（４）ICTスキル向上

【課題】

北海道の農業従事世代は高齢化が直実に進展し、それは美唄市においても同様です。

本事業での広報活動もあり、積極的にICTの技術を利用するという意識面での課題は低いと考えますが、基本的なICT技術面でのスキルアップについて必要性を感じています。PiPa利用者への操作講習についても、ICTを利用するシーンが本事業のみという利用者も多く、日常にICTが利用される継続的利用が可能な環境と必要なときに操作を支援できる支援体制が必要であると考えます。

【解決方策】

美唄ファンポータルPiPaを利用する農業者や産業事業者、移住関連事業者などや、一般の希望者を対象に、各種サブシステムの操作方法説明などと併せて、ICTスキルアップの研修を行いました。基礎講習からシステム利用の効果説明、操作研修は講習後に会員登録やブロガー申請が増加したことからも、地域活性化事業に参加する裾野を拡大することとなりました。また、自宅にインターネットと接続可能な環境を持たない利用者には、直売所にWeb端末を設置するなどの方策を行いました。

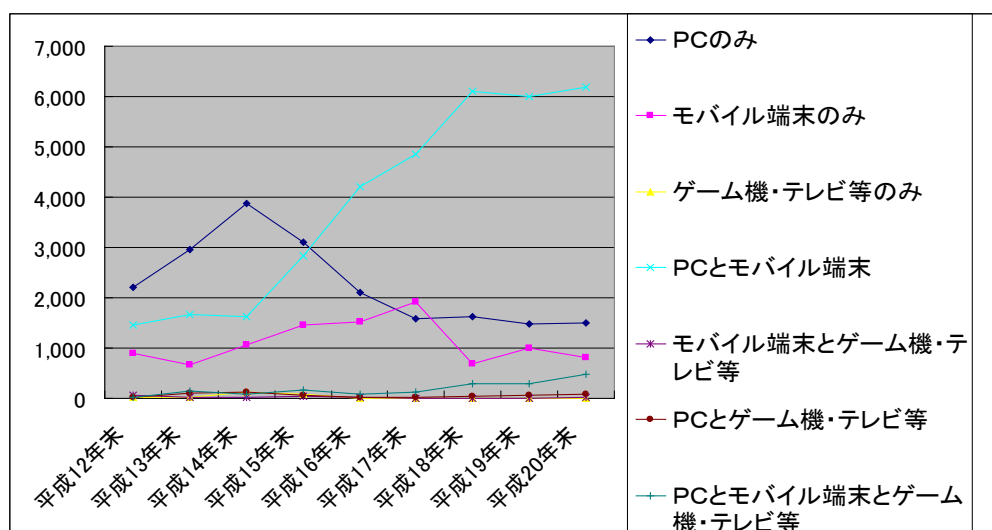
平成 21 年度の課題（上記から）	実施した対策事例
・ 継続的利用が可能な環境 ・ 操作を支援できる体制	・ 重点的な基本情報教育を含むPiPaの講習 ・ 直売所へのWeb端末設置、操作フォロー体制強化

(5) インフラ&メディア

【課題】

日本において情報端末といえば従来からパソコンが主流であり、本事業においてもパソコン利用を前提としたシステム作りが行われてきました。美唄市ではブロードバンド未整備の農村地域が広範囲に存在し、ICT利活用における大きな障壁となっていました。また、ブロードバンド未整備の影響は家庭においてパソコンなどインターネットに接続可能な情報端末が普及しないという状況を生み出していました。現在では、総務省「通信利用動向調査」のインターネット利用者における接続環境、が大きく変化していることで、利用者においてもパソコンのみがマストの選択でないということがわかります。

(出典) 総務省「通信利用動向調査」



ブロードバンド未整備という状況下で一部の農村地域は公衆電話、FAX という従来のメディアがプライマリーでありましたが、新しいメディアとしての携帯電話はパケット料金の定額制などが進んだことから、メールや Web アクセスも一般的になり、ICT 利用における敷居が低くなりました。本事業としてもパソコンとブロードバンドの組み合わせだけではなく、代替メディアを用意することで利用者へのアクセスビリティを大きく向上させることが可能となります。農業を中心に ICT を基盤とした本事業への影響は非常に大きいと考えます。ただし、使いやすさ＝UI の問題では、機種が多様化も無視出来ないファクターであり iPhone や Google 携帯など、従来の省スペース PC に近い機能、性能の機種が今後益々増加することとなり、近い将来のデファクトスタンダードに準拠した開発が望ましいが、現在ではそれも悩ましいところです。技術的な課題として情報伝達手法における重要な点は、必要な人に確実の伝えるという情報到達の完全性、もしくは伝える情報内容は完全ではなくとも、可能な限り多くの人に伝達する広報性であり、その目的に合わせた機能性が必要とされます。携帯電話対応で利用される多くのシーンで必要とするのは広報性であり、これは携帯電話という枠にとらわれることの無い課題です。ユーザインタフェースのプラットフォームが異なることで生じるマルチインフラへの障壁は大きなものです。携帯電話、FAX、携帯型情報端末、携帯型ゲーム機、

PC、デジタルテレビなど、ユーザインタフェースとなる情報家電は多種多様に存在しますが、実際にこれらに対応するためには大規模なシステム面での整備が必要であり、難度は高い状況です。これらのプラットフォームが共通化され、複数の異機種によるマルチキャスト情報提供が可能になる基盤技術の開発と提供がユビキタス社会への大きな前進であるものと考えます。

平成 21 年度の課題（上記から）	実施した対策事例
・ブロードバンド環境の未整備 ・パソコン等機器の未設置	・代替メディア（携帯電話）での機能追加 （簡易ログインによる記事閲覧投稿、ブログ閲覧投稿）

（６）能動的情報収集および移住希望者の利便性向上

【課題】

美唄の農産品・特産品のブランド化において購入を希望している方や実際に食した方から、生の声を能動的に収集することは、新たな地域資源の掘り起こしや商店街、商工会議所等の産業活性化に向けても有効であると考えています。従来の紙媒体のアンケートでは対象範囲も狭く、費用の問題や集計の手間などがありました。また平成 20 年度に開発した地図基本サブシステム（移住機能）において物件確認や申込みなどの操作がオフラインで行われていることで受注機会を著しく損なっている現実からセキュリティの高い受付方法を模索しておりました。

【解決策】

平成 21 年度に行った、美唄への移住・定住希望者に向けたツアーの申込受付において、問合せ方法が電話と FAX であったため、利用者からシステム化に向けた要望がありました。都市圏に向けた情報提供に伴うコールバック対応は基本的にワンストップで行うべきであり、平成 19 年度に開発した情報提供収集サブシステムによる投稿記事に申し込みフォームを貼り付ける方式の申込受付サブシステムを開発しました。また、システム化の実施についても、多くの方から利用してもらうため、シンプルな画面と操作性の簡易アンケート作成サブシステムを開発しました。簡易アンケート作成サブシステム、申請受付サブシステムとも、簡単に P i P a 以外のホームページから利用可能であり、広く収集を可能とするものです。これにより項目作成、印刷、配布、パンチ、集計などの手間と労力を著しく軽減できます。これは非常に省力かつ高機能であり、事業効果の高いものであると考えています。

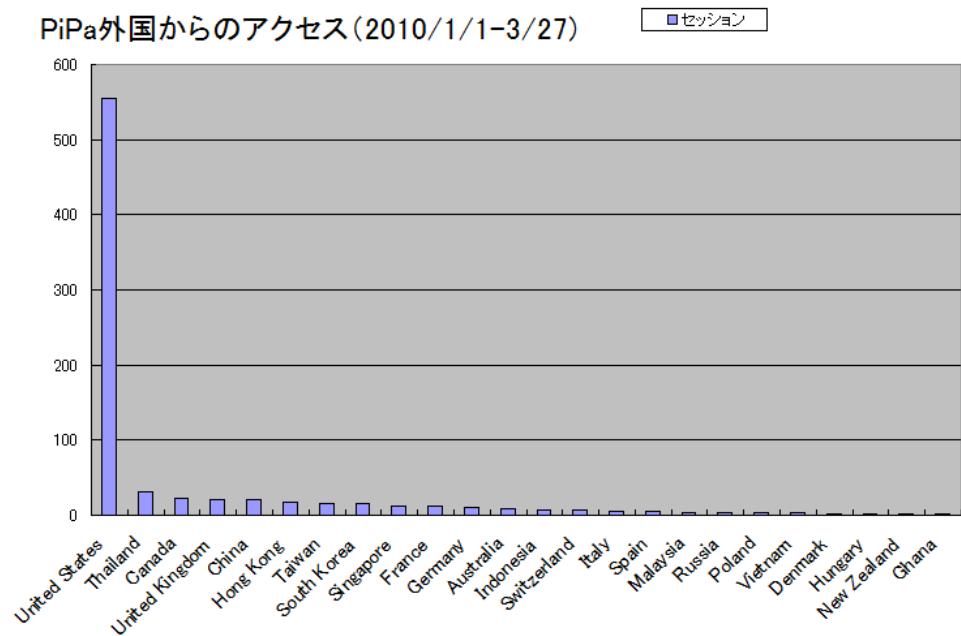
平成 21 年度の課題（上記から）	実施した対策
・簡易で多角的な情報収集方法 ・セキュリティの高い個人情報の受付	・簡易アンケート作成サブシステム開発 ・申請受付サブシステム

（７）外国人観光客の促進

【課題】

近年は北海道観光を目当てに訪日する外国人が増加し、近都市圏の札幌などでは、団体で移動するアジア系観光客を目にする機会も珍しくなくなりました。特に中国の上海やタイの富裕

層が安全で雪など自然が多い北海道を目的として観光に訪れる場合も多く、旅行代理店に頼ることなく北海道に旅行する例も多いようです。美唄市の魅力を外国人の方に知っていただくためにも観光情報の外国語対応は重要です。外国語への対応をしていなかった時点においても、美唄ファンポータル PiPa に訪れる日本以外からのアクセスは意外に多く、その国は非常に多岐にわたっています。



【解決方策】

観光情報の外国語対応は、単純に言語を変換するだけでは文化や地域性の違う外国人には伝わりにくいため、ネイティブにも伝わりやすい表現を深く検討する必要があります。翻訳に際しては市内の大学に在学する中国人留学生に依頼することで、地域に密接にかかわっている外国人視点による情報提供が可能です。訪れる外国人に対して日本人の観光客と同様のホスピタリティ維持するための受け入れ側の体制を整えるという課題がありますが、これは今後情報提供による集客増加に伴い早急に行う必要があります。

平成 21 年度の課題（上記から）	実施した対策事例
・外国人の観光客に情報提供したい	・ PiPa の外国語情報提供（英語、中国語（2 種））

1－2 事業開始年度（平成 19 年度）～平成 21 年度におけるまとめ

（1）3 カ年の課題

平成 19 年度総務省事業「地域 ICT 利活用モデル構築事業」採択から事業期間 3 カ年の当初地域課題を定義し、地域 ICT 利活用モデル構築事業推進協議会等において検討実施してまいりました。当初から現在まで一貫した基本課題は以下のとおりでした。

- ・地域課題の内容（当初）

美唄市は、三菱・三井炭鉱などによって炭鉱のまちとして栄えたが、閉山後は、石炭産業以外の農工一体の産業構造を目指し、企業誘致とともに土地改良事業等で優良な農地を拡大し、道央穀倉地帯としての地位を確立してきた。～中略～ また近年では『おぼろづき』『ハーブ米』『雪蔵工房米』など特色ある米のほか、『アスパラ』や全国一の収穫量を誇る『ハスカップ』などの農産品に加え、『米粉』に代表される農産加工品、歴史ある『やきとり』、『とりめし』などが評判を呼び、一躍ブームになるなど地域ブランドになりつつある特産品が多数出てきている。その様な状況にありながらも、北海道の幹線である国道 12 号線沿いに位置する美唄市は「通過する街」のイメージが強く、基幹産業である農業を主体とした農産物や加工品など、特産品の素晴らしさを多くの方々に認知してもらうことで「立ち寄ってみたい街」になるような、魅力あるまちづくりを進めることが重要課題である。具体的には以下の点を、「通過する街」を解消するための主な課題と考える。

【農産資源、特産資源、観光資源】

豊富な観光資源と評価の高い食材や物産品がありながらメジャー（地域活性化の起爆剤）にならない。

【入り込み客数】

札幌や新千歳空港から車で 1 時間程度と、地の利に恵まれているものの通過型観光として訪れる方が多い。

【地域内連携】

地域イメージをブランド化するための活動は積極的であるが、他地域の住民や観光客の方々に伝わっていない。

平成 19 年度当初に提起した基本課題について平成 19 年から 3 ヶ年の事業実施中における進捗とともに浮かび上がった具体的な地域の課題を解決すべく以下のとおり、システムの整備や検討を進めてきました。

【共通】

・ブランド化推進

農産品・特産品販売管理サブシステム（平成 19 年度）

情報提供・収集サブシステム（平成 19 年度）

情報提供・収集サブシステム携帯電話対応（平成 21 年度）

ブログサブシステム（平成 20 年度）

ブログサブシステム携帯電話対応（平成 21 年度）

ブログサブシステム（平成 20 年度）

簡易アンケート作成サブシステム（平成 21 年度）

メールマガジン配信サブシステム（平成 20 年度繰越）

地図基本サブシステム（平成 20 年度）

【農産資源、特産資源、入り込み客数】

・あおぞら市場（農産特産直売所）

農産品・特産品販売管理サブシステム（平成 19 年度）

農産品・特産品販売管理サブシステム(トレーサビリティ機能)（平成 20 年度）

農産品・特産品販売管理サブシステム(POS 大口注文対応機能)（平成 20 年度繰越）

農産品高付加価値化支援サブシステム（平成 20 年度繰越）

【観光資源】

・観光／体験観光（グリーンツーリズム）

グリーンツーリズム支援サブシステム（平成 20 年度繰越）

地図基本サブシステム（移住支援）（平成 20 年度）

地図基本サブシステム（地図図形表示機能追加）（平成 20 年度繰越）

申請受付サブシステム（平成 21 年度）

産業支援サブシステム（平成 20 年度）

【地域内連携】

・安全な地域内コミュニケーション

地域交流コミュニケーションサブシステム（平成 19 年度）

地域交流コミュニケーションサブシステムオープン化（平成 20 年度繰越）

・農商工連携

顔の見えるインターネット直売サブシステム（平成 19 年度）

顔の見えるインターネット直売サブシステム携帯電話対応（平成 21 年度）

【その他】

・地域間連携

地域連携サブシステム（平成 20 年度）

（２）課題解決の考え方と具体的手法

事業期間の３ヵ年を通しての課題については事業推進にかかわる関係団体等との協議や検討を随時進めてきました。事業運営を行ううえで得ることが出来た地域活性化についての考え方と具体的手法について、主なものを以下のとおり取りまとめ、総括を行いました。

・ブランド化推進

北海道のみならず日本全国の地方地域において「特産品広報」や「観光振興」、「地域アイデンティティ」などの活動が活発に行われています。美唄市では、地域で生産される野菜や米、果実などの生鮮特産品やそうした特産の素材や伝統の技術を活かして製造される加工食品等の商品、あるいは、特定の地域で提供される文化的講演や体験観光、温浴リゾートなどのサービス等、郷土の歴史やきれいな自然など恵まれた環境を素地とした「地域ブランド」づくりにおいて、「体験観光（グリーンツーリズム）」「特産」「農業」「文化」等について「買いたい、行きたい、

住みたい」を達成するような事業方策を実施して参りました。例えば、農産物における高い付加価値とは鮮度、旨み、他にない食感、大きさ、色・つや等を目安とされることが多いと考えますが、これらの商品価値評価を下すのは、地域の生産者や供給側ではなく、あくまでも消費者やそれらを仲立ちする流通業者などの第三者から「美味しい」「旨い」「他とは違う」等の評価を得られるかどうか重要です。地域ブランドとは、その名のとおり「地域」と「ブランド」の合成であり、地域内に高い付加価値を持つ素材や、地元産品を生み出す、恵まれた地域環境条件とブランドとして育ててくれる消費者の強い支持が第一必要条件であると考えます。このように開発された高い付加価値を持つ農産物や地元産品等を維持するためには、地域内に以下のような条件が必要と考えます。

- ①地理的条件（土壌、温度、水など）
- ②育成・製造加工技術（栽培収穫ノウハウ、品種改良技術、製造加工技術、利用機器類など）
- ③地域主体の熱い思い（地域商品開発熱意と地域間の連携、共感を呼ぶ仕掛けづくり）
- ④商品企画とマーケティング（商品・サービスの魅力づくりや優位性の維持）
- ⑤販売・情報・物流と消費者のつながり（販売ルートの確保、商品保存管理、配送、消費者による直接評価システムなど）

・あおぞら市場（農産物・特産品直売所）

美唄市には農業者団体が開設する農産物直売所が複数点在しており、平成 19 年度に本事業にて開発した農産物・特産品販売管理サブシステムが現在二店舗で稼働中です。平成 16 年 5 月から利用を始めた農産物直売所「びばまーと」は美唄市の中心地より東に 5km ほど入った温泉施設と併設されており、温泉宿泊施設からの大口注文などを定期的に受注しています。美唄市のみならず一般的に農産物の直売所に参加する農業者は高齢化率が高く、当初商品ラベルの作成や携帯電話での販売実績確認は難しいのではと懸念されましたが、実際に行ってみると、定期的に売り上げを実感できることや、新しい技術を利用する満足感もあり非常に好評でした。また北海道の基幹となる国道 12 号線沿いで営業する「アンテナショップ PiPa」は平成 21 年 7 月にオープンし、本事業における課題解決の一環として、バーチャルな美唄ファンポータル PiPa に連携するリアルな店舗 PiPa として設置が行われました。

日本の農作物直売所の数はコンビニ最大手の店舗数を超えたといわれます。統計によると、今や全国農産物の 5%は農家直売で流通しており、後継者難に悩む農家にとって、今後農業を続けていくための活路となる可能性があります。農林水産省の調査によると、平成 17 年の農産物直売所は全国で 1 万 3 千 5 百施設、年間利用者は延べ 2 億 3 千万人、平成 19 年の調査では、年間売上高は 5 千万円未満の直売所が 51%となりますが、1 億円～3 億円も 21%あり、直売所あたりの年間売り上げは平均して約 1 億円となっています。また全国の直売所の合計総売上高は 1 兆円ともいわれています。なお、美唄市で展開する上記の二店舗においては、売上げベースで平成 20 年 5 月～11 月（冬季休業のため～売上は「びばまーと」のみ）で約 1,000 万円、平成 21 年 5 月～平成 22 年 3 月で 26,682 千円（二店舗合計）とまだまだ少ないながらも着実に増加しています。

・体験観光（グリーン・ツーリズム）

美唄市では美唄グリーン・ツーリズム研究会が毎年、多くの修学旅行生の受け入れを行い、農業体験や農家民泊などを行っているほか、ハスカップやアスパラの観光農園やもぎ取り体験などが可能な農家が点在しています。これまでは、これらのグリーン・ツーリズム情報は個別のホームページや紙媒体等で行ってきましたが、グリーンツーリズム支援サブシステムの開発により、ポータルサイト PiPa に情報が集約されるとともに、農家相互や関係団体とのネットワーク構築も可能となります。

また、システム構築をきっかけに、新たな体験観光メニューが生まれるなど、一定の効果がありました。具体的な事例としては、市内の交流施設であるアルテピアッツァ美唄で定期的で開催されている彫刻体験には全国から多くの受講者が訪れていますが、これまでは宿泊場所がないなどの理由により、市外の宿泊施設が利用されていました。グリーン・ツーリズム支援システムや郷土情報データベースを活用する中で、既存の彫刻体験メニューと農家民泊の組合せによるモニターツアーが企画・実施され、参加者にも好評だったことから、今後も継続して事業実施される予定です。

グリーン・ツーリズム活動における利点として、「農家も楽しみながら取り組んでいる」ということが上げられます。実質的には農業自体を取り巻く環境は厳しく、それを打開するための交流・グリーンツーリズムという側面もありますが、実際にかかわっている方々は実に生き生きと取り組んでいます。このように「美唄で生き生きと働いている住民がいる」ということは、「こんな風な暮らし方がしたい」と思う都市住民を引き寄せることが可能になります。交流・グリーンツーリズムを展開することによって、生き生きと働く人を増やすことが地域再生・地域活性化につながると感じました。

・安全な地域内コミュニケーション

平成 19 年度に開発した SNS コミュニケーションサイト「PiPa コミュ」はユーザーがさまざまな目的の実現に向けて、仲間を募り現実に出会い、協働をする基盤への発展を目指し、日記機能、コミュニティ機能、メッセージ機能によるソーシャルコミュニケーションを可能としました。

基本的に PiPa コミュは個人の情報発信を支援するものであり「皆が主役」の仕組みづくりでユーザーがさまざまな目的の実現に向けて、自分たちでコミュニティを形成できることに意義があります。地域 SNS としての効果としては当然ながら、地域に根付いた活動がしやすいことが挙げられます。これはオフライン活動を企画運営することが地域に与えるメリット、このような地域 SNS サイトの運営自体がユーザーと作り上げるものであり、今後の PiPa コミュでは地域参加型イベントなど mixi では実現できない地域密着の運営を行っていきます。

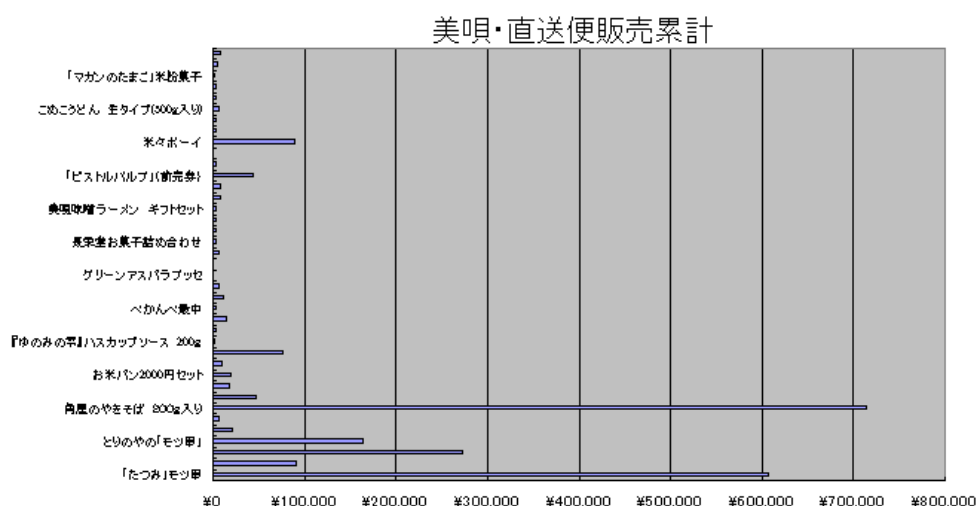
運営後 2 年を経過し現状での会員数は 114 名（平成 22 年 3 月 31 現在）となり開設当初に比べ会員数の増加は緩やかになってきています。平成 22 年度での運営については、随時利用者に意見を収集できる環境を構築し、コミュニティ上でのイベント等を開催していくことが必要であると考えております。地域 SNS では、既存の地域組織やメディアとの連携がしやすいことや地域の人々の信頼関係の上に地域を議案とするコミュニケーションが活発に行われその結果、創造的活動や自治・協働、ビジネス等が実現することで地域の活性化が図られるものと考えています。

が、PiPa コミュも同様に、信頼を醸成するソーシャルネットワーク、地域イメージを形成するコミュニケーション、グループ活動支援など、さまざまな取組みを意識的に行っていくことを考えています。

・農商工連携

美唄市の農産物で主なものは米、麦などの穀類が中心であり、以前は評価の低かった北海道米でしたが、「おぼろづき」が近年、全国食味コンクールで金賞を取るなど、ブランド米の評判を呼び価格も順調な伸びを示しています。また一時期の外麦の高騰をきっかけに、製粉技術の向上、安全面での意識向上により、国産米を使用した米粉の評価も高くなっています。美唄では美唄産米の米粉に以前より着目しており、現在では地元の製麺業や菓子店、食パン製造業などの事業者で構成する「美唄市こめこ研究会」が中心となり、米粉を使用したお菓子やパン、米粉麺などすでに数多くの製品を開発し商品化が行われています。また北海道屯田開拓の時代の美唄入植の歴史を背景に今にいたる「中村のとりめし」などの美唄の特産品ともいえる商品が存在します。これらの商品は地元で愛されその地域の文化として販売されてきたものであり、美唄市内の各店舗でしか取り扱いはありませんでした。そんな中で平成 19 年度には地域 ICT 利活用モデル事業において顔の見えるインターネット直売サブシステムが開発され、平成 20 年から美唄の特産品を集めたインターネット販売の「美唄・直送便」をオープンしました。

これまでは試験運用としての販売であったため総体額としては低調であるものの、平成 21 年 7 月に日本テレビ系全国放送の「カミングアウトバラエティ 秘密のケンミン SHOW」で美唄市の袋入り焼きそばが取り上げられ、以降全国より注文が殺到し、それまでの一日生産量 200 食が 6000 食となり、インターネットでの販売でも一時期 7,000 食のバックオーダーを抱えるなど、地域情報の発信から地域のポータル PiPa が反響を受け止めることのできた典型的な事例でした。



またインターネット購入の延べ人数において 1,048 人となっており、うち北海道在住者の購入は半数に満たない 413 人、うち美唄市が 59 人ということで、そのほとんどで美唄以外の顧客を獲得しています。

・地域間連携

これからの地域づくりとして、美唄固有の魅力的な資源をその地域自体が理解したうえで行う他地域とのゆるやかな連携は、お互いの魅力を高めあうことで露出効果を向上させ、観光客を取り込むことを可能とします。また北海道に点在する個々の地域に存在する観光資源は、知名度や集客力がそれほど高くない場合でも、これらの地域の観光資源が美唄市とまったく異なる歴史的・文化的土壌に育まれていたり、特徴的な気候風土や自然環境に根付いた資源であったりすることがあります。このような各地域の「地域ブランド」を一体として、北海道ブランドとして情報発信するメリットは高いと考えます。特に観光については、人々の観光ニーズや行動が多様化している中で、地域がバラバラに観光交流の拡大に取り組んでいたのでは、観光客の視点を欠いた非効率な取り組みになりかねない。行政区域にとらわれることなく、近隣の複数の観光資源を組み合わせる回遊性のある観光ルートを開発したり、地域の広域的な取り組みにより新たな魅力を創造することなどによって、地域の観光資源を効果的に結びつけ、地域全体の魅力を高めることが重要です。広域連携の取り組みによって地域の総合的な魅力を高めることができれば、結果として個々の地域がその恩恵を受けることとなります。

今後、美唄ファンポータル PiPa が求める地域間連携とは、日本の中心である東京から地理的にも大きく離れており、自然や食などについて魅力がある北海道というブランドを有効に利用するために、農業と食のまちである美唄市と道内の漁業、山村、酪農、牧場などの差別化が可能な地域と ICT を利用した連携を模索し、省ランニングで高効率な運用を目指します。

(3) アンケートによるご意見

本事業における今後の運用を円滑に進めるため会員や非会員の制限なく、ポータルサイト PiPa の利用者に向けて公開アンケートを実施いたしました。結果アンケートの総数は 388 件となり、そのほとんどに前向きなご意見をいただきました。平成 22 年度の運用に向けてそれぞれの意見についての検討を行い、より良いサイトを目指します。

以下にご意見を抜粋します（同意見や趣旨以外の提案を除き、無作為で抽出）

- 美唄には素敵な自然もあり食べ物もおいしいので観光などもっと宣伝したほうがいいと思います
- 説明が丁寧で参考になりました。
- 最初、なんて読むのか、どこの町なのかまったくわかりませんでした。兵庫の山中の田舎に住む私にとって北海道は遠いし、行ったこともありません。でも憧れはありますね。読んでいるだけでも楽しいです。
- 実家が美唄なので、こちらのサイトを知ってから子供を連れて遊びに行く時にいろいろチェックしています。これからもいろいろなスポット教えて下さい
- 毎回楽しく拝見させていただいております。色々なコーナーがあっていいですね。動画で『ベンチャーズ』など懐かしく聞かせていただきました。又、紅葉もいいですね。次は赤く紅葉している所を期待します。要望ですが、動画が入っているせいもありましよ

うが、各ページ少々重たい嫌いがあります。軽めのページをお願いします。

- 最初に美唄の名物焼き鳥が出てきたので注目してしまいます。それから地元の観光スポットを案内するのも大変良いと思う。
- 北海道は行ったことがなく、こちらのサイトを訪れるまで美唄市の事は名前さえもしりませんでした。でも、こうした地域密着な情報を発信していらっしゃる上に動画なんかもUPされていて、とても楽しめました。
- こちらのサイトに辿り着いたのはたまたまだったのですが、パン屋さんとか気になるので、北海道に行く際には、美唄市にも脚を伸ばしてみたいです。
- 全然、知らなかった場所を知ることができるこうした情報はサイトは、とても便利で大切だと思うので、これからも更新を楽しみにしています。
- ページごとの情報量はもっと少ない方がいいのでは？
- 情報量が豊富で楽しいサイトだと思いました。
- 特集の更新頻度をもうちょっとあげた方がいいかもしれません。常に新鮮味を！
- 情報提供を増やしてほしいです。
- 我々の年代では美唄と言えば炭鉱でしたが、今はだいぶ様変わりしてますね。
- 表示が速くてわかりやすいサイトです。
- これからも魅力あるサイトを期待しています。
- いつも楽しく拝見してます。
- 情報いっぱいバラエティに富んだ楽しいHPですね
- 美唄初心者向け四季折々の混交 グルメ情報をお願いします
- 地域発信の情報はとても大切だと思います。いろんな情報を期待しています。
- 今後もHPを通して美唄に関する様々な情報を発信して欲しいです。これからもスタッフの皆さんお身体にお気を付けてお仕事がんばって下さい。応援してます。
- 美唄に訪れたい観光などの情報をお願いします
- 美唄が大好きです！ハスカップなどの特産物だけではなく季節ごとの旬の美唄の食べ物や地元の料理法などについても知りたいです。
- 機能が充実で、素晴らしいです。
- 北海道は、他県民にとって、憧れの土地。もっと都会に向けて、食や観光の情報を発信してほしいです。
- 母の出身地、主人の母校があるなど、私と接点が多く、検索したらこのサイトを発見して嬉しく思っています。地元情報の発信を期待しています。また、美唄という名前を知らない人がまだまだ多いので、全国の人がもっと美唄を知るよう頑張ってください！
- HP は見やすくて大変いいと思います。これからも地方から都市へのメッセージ等期待しています。
- 機能的なHPだと思いますが、もっと画像があると興味があります。
- 以前「おぼろづき」の検索をしていてHPを見つけたのですが、砂川に住んでいた時期もあって、たまに懐かしく閲覧させていただいてます。当時は岩見沢・札幌に行く道中の町というイメージの美唄でしたが、こちらを拝見すると活気のある町だったんだなあ

…と今更ながら印象を改めておりました。「青の洞窟」の温泉や焼鳥屋さん、12号線沿いの街並みしか知らずにいたのが悔やまれます。でも実家は道内なのでまた美唄に訪れる機会もなくはないのでそれまではこちらのHPで情報をチェックしたいです。サイト自体は多岐にわたっていて力が入ってるなあという印象です。投稿も多いですし市民みんなで盛り上げていこうという気概が感じられます。空知の人にはそういうところが少ない気がしていたので、美唄の皆さんは今後も頑張ってください。

- 茶志内の胡桃や長栄堂のくるみ餅、たつみの焼き鳥は確かに有名だし、美味だね。昔はゆうパックで全国に発送していたが、今はなくなって残念。
- 先日岩見沢にザワブロと言うのが出来、南空知のサイトと説明があったのでつい登録してしまいました。美唄のお店も何軒か登録してブログをupしてるようです。pipaも美唄市内と限定してるわけではないと思いますが近隣市町村とも何か提携した紹介などもあると、もっと広範囲な利用が増えるのではないかと思います。岩見沢に負けるな～
- 頑張っているのが伺えます
- 美唄の情報がいろいろわかるのでいいなあとおもいます。イベントや季節の商品がたくさんそろっていると思いました
- 美唄（北海道）を深く知るのに大変役立ちます。とても良い企画だと思います(^o^)是非お願い申し上げます。
- もっと、各地方に、美唄にアピールをして行かないと思います。
- いつも楽しく読んでいます。
- これからもいろんな情報を知りたいと思います
- 北海道への興味をとっても持ちました
- 焼き鳥わやうま！
- 訪問したことがない。出かけてみたい。
- 地域の情報を掲載するだけでなく、体験や交流などのイベントも充実しているので、身近に感じます。生産者や店舗の声がとても誠実で、好感もてますね！
- 美唄の魅力満載で、身近に感じる事が出来る。
- 北海道に行く機会があれば、きっと立ち寄りますと思います。
- 繰り返し見る工夫が大事だと思います。
- 今後も美唄の情報を、全国に、全世界に向けて発信して行って下さい。
- 夫の実家が美唄にあるので年に何度も訪れているのですが正直こちらのショップのことは知りませんでした。お風呂のピパの湯は大好きで必ず行くのでこちらのお店も必ず探してみます。楽しみができました♪
- 北海道が大好きで10代のころから10回以上は旅行していますが、美唄にはまだ行ったことがありませんでした。このサイトをみるようになってから、とても身近に感じられるようになり、この夏にはぜひおじゃましたいと計画中です。
- 今回、JR札幌駅前のイベントへ行ってきました。足りなくなった米粉など、他にも買ってきました。今回のようにもっと駅前方面でも、美唄の商品をPRして売ってください

い！

- また、これから春になるので出かける機会も増えると思います。こちらのサイトにたくさんイベント情報を載せてほしいと思います。
- 旅行の時など情報は有り難いです
- 美唄の魅力をどしどし発信してください。お待ちしております。
- 話に花が咲くことでしょう
- 美唄の郷土料理や特産品などを使ったご自慢レシピがあったらいいなと思います。
- サイトが見やすく、いつも楽しみにしてます。
- 関西ではわからない情報が満載で旅行やお取り寄せの参考なるサイトで嬉しいです。これからも多くの情報を発信して欲しいです。
- 写真つきのアイコンが多いので、興味をひきやすくてよいです。
- 北海道は中学の修学旅行で行ったきりです。美唄も風光明媚ないい所だと思います。一度訪ねたいですね。 冬以外に・・・
- いろんなものがあって楽しいね^^
- 初めてサイトを見ました。美唄がどこにあるのかわからなかったのですが、北海道なのですね。市をあげて色々なことに取組んでいて、良い所だとおもいました。家族旅行に今度訪れてみたいです。
- 綺麗な風景写真とかが見られるコーナーとかがあればとおもいます。
- 素敵なホームページですね。花粉症の季節になりましたが、お体に気をつけて頑張ってください。
- 良く出来た企画ですね
- 今の時代どうなのでしょうかね。
よほどインパクトが無ければ見ないですね。
沢山情報が発信されてますから。
- 美唄の特産物を使ったスイーツや地鶏大変気になり、一度食べてみたくなりました。
- いつも見ています。特集は写真も文章も上手で美唄の魅力を良くあらわしていると思います。これからも頑張ってください。
- HP の紹介している写真がそれぞれ小さく詰め込みすぎの印象を受けるので、もう少し一押しの情報を大きくそれ以外は文字のリンクにする等のメリハリが必要かと思います。
- 子どものころ美唄に旅行で寄ったことを懐かしく思います。応援してます！！
- まずもって洗練されたデザインが「見てみようかな」という気持ちにさせてくれます。
- 内容も美唄の魅力が満載ですね～。動画があるのもいいですね。
- 個人的には私のお気に入りパスタさとうさんを紹介していただきたいような、隠れ家的魅力のあるお店なのでそっとしていただきたいような・・・独り言になってしまった・・・
- とても充実したサイトですね。
- いい企画ですね。
- 頑張れ！！

- 今までこのようなものがあることが知りませんでした。美唄は高校卒業まで住んでいたのもとても懐かしく思います。
- 美唄出身です、楽しみにしています。
- 地域のお料理などいっぱい知りたいです・・
- 地方から発信する情報は重要だと思うのでこれからも続けて欲しいです。
- 「知る」に掲載されているレシピを主要材料ごとに分けて（例えば、米粉：米粉のカスタードクリーム・ベコ餅、ハスカップ：ハスカップと豚バラのこっくり煮込み、といった様に）見やすく調べやすくしてほしいです。
- 美唄周辺の地元料理レシピなども発信してほしいです
- まだ北海道に行ったことがありませんので、いろんな情報いつも楽しみにしています。
- そのままがいい自然がいい
- 道外は送料が高くなるので、まとめ買いをするつもりで、なかなか注文に辿りつかない。あれもこれも欲しい場合、同梱包してもらえると嬉しい。ショップを作って、セット商品の販売も利用しやすいかもしれません。
- 特産品などの紹介がありうれしい
- 北海道の魅力がよく出ています
- 美唄の景色に感動した者の一人です。今度は妻と子供を連れて行きたいと思っています。是非、情報提供をお願いします。
- 役立つ内容のあるサイトですね。
- 今回はじめてここに来ましたが地元の有名店の紹介とかいいですね。興味持ちました
- 美唄は今焼き鳥で大変有名なので、美味しいお店の紹介をもっとするべきだと思います。
- その地域ならではの話題をさらに掲載すると楽しめると思います。
- 初めて見ました。情報満載ですが、写真が小さいので少し見難いと思いました。1画面に情報を詰め込みすぎという感じがしました。もっと見やすいと良いと思います。
- アパートを借りようと思いPiPaで調べて電話し、既に契約済みとのことでしたが、いまだにその物件が載っています、古い情報が載っているとがっかりします。
- HPは、画面の構成がよく、感度良好でした。
- 今日、参加させて頂いたばかりでまだ判りません。関西在住の美唄市出身者です。故郷情報の発信源として永く続けられる事をお願いします
- いろんなジャンルの話題があり楽しくよめます
- 初めてみました。これからも色々な情報を提供してほしいです。
- これから興味を持って見れる機会があるといいなと思います
- こう言っては何なんです、もう少しセンスが良いと・・・。
- これからも楽しい記事を楽しみにしています
- これからも、よろしくお願いします。応援しています。
- 他のホームページと比べると少し文字の大きさが小さい気がしました。もう少し大きい方が見やすくなると思います。よろしくお願いします。
- とても楽しく拝見させていただきました。

- 仕事で一度行ったことがあります、とても魅力的な旅行先だと思っています。とにかくおいしいものと美しい自然がすばらしいです。希望としては、旅行情報（交通、観光地）などの情報の充実を期待します。
- 美唄味噌ラーメンというとてもひかれるラーメンを見つけました。元祖 塩そばもおいしそうだし、いろいろお取り寄せしようと思っています
- 今後もお得な情報などどんどん更新してください
- ホームページは写真が多く綺麗で、ジャンル別に分かれていてとても見やすく、知りたい情報がすぐに見つかります。また、商品その他の説明もとてもわかりやすいので、今のままでも十分だと思います。ですから、できるだけ多く人にこのページを知ってもらえるようにしたほうがいいと思います。
- 字が少し小さいです
- 友人が美唄出身で話には聞いたことがありますが、今回初めてHPを見てとても魅力的に思いました。
- いろいろわかりいいですね、これからも楽しみにしていますね
- とても情報量が多くて良いと思います。
- 特集、記事などの情報がよく更新されている。
- 「人気トピックス」で常連の投稿者へのインタビューなど・読者が選ぶ、PiPa 人気ブログ・市内企業の社長にインタビューブログをよく拝見していますが、「活動報告」のようにその仲間しか見ないようなものだけだと、タイトルとその画像をみただけで内容がなんとなく分かり、見る気が失せてしまいます。
- （ブログに何を載せるかは個々の自由なので、意見するものではないかもしれませんが…）すでに実施されている「特集（ひと）」のようなちゃんとした内容でなくてもよいと思うのですが、いろいろな人の対談・インタビューをもっと見たいです。
- 寒さが苦手ですが、食べて美味しい、暮らして楽しい、人がいい、で暖かく迎えられる気持ちにさせてくれて、とても魅力的に感じました。
- いい写真が多くて見やすいサイトですね。更新するのは大変でしょうが、私のように更新を楽しみにしているのもいるので、がんばってください。毎日見に来ていますので。
- 日本の食事情や、今話題の米粉に対する真剣な取り組み、取り組みされている方々の新鮮な意見を読ませていただいています。これからも、日本の食を守るために頑張ってください。
- インターネットの世界は地域はあまり関係ありません。創造性と意外性で堂々と世界に伍していけます。美唄から頑張ってください。
- 愛知県から北海道の情報が正確に得られるのでとてもいいですね直送便もあるのでとっても便利だと思います
- 情報発信と交流が進んでいくとよいですね。
- 北海道が好きで、特に美唄に期待しているので、もっと情報をドンドンだしてアピールして欲しい。期待してます。
- このページは、見るたびに何か発見があります。

- 引き続き地域の声を全国に！！
- 美唄焼き鳥の大ファンです。美味しい情報があればお待ちしております。
- 両親が北海道出身なので北海道の記事を気にしながらよく読んでます。いろいろな食材の記事をみますが、なかなかこれと言うのにぶつかりません。食材はよいのですが、それを生かしたレシピの充実が必要に思われます。
- オフィスキューのブログで、「角屋」と「すぎうらベーカリー」さんが紹介されていたので注文をしてみます。とても美味しそうなので届くのが楽しみです。
- 明るくて見やすかったです。
- お取り寄せ品の充実を望みます。角屋のやきそば美味しそうですね。
- 少し役所的な感じがします。
- サイト内 MAP を分かりやすく表示すると良いと思いました。
- とても興味を持ちました。
- HP が重いので頻繁に見ようという気にはなれません。情報は豊富で面白いと思うのですが
- 工夫がされていて本当に見やすいホームページでした。見るだけで欲しい物が数点ありました。これからも楽しみにしています。
- 記事投稿されている皆さん、がんばってください。
- インターネットを利用する美唄市民が「美唄ファンポータル PiPa」を活用し、意見などを気軽に各サイトに送ってほしいですね。まだこのサイトを知らない市民がいると思いますので、各企業にお願いして印刷物などにポータルサイトの告知とサイトを使ってその企業の宣伝ができることを理解してもらいたいですね。余談ですが、ある商店主の方にこの話をしたところ知らなかったのでは是非利用してみたいと言っていました。PiPaを通してインターネットで自社の商品を紹介するのに会員になるように検討しますとのことです。
- 情報が素早く得られて使い勝手の良いサイトですね。
- いつも拝見させていただいております。ありがとうございます。
- 記事投稿のときに、うっかり違うボタンを押したりして前の画面に戻ったときなど、入力した内容が全部消えちゃった～ということが数回あったので、簡単にやり直しや一時保存ができればいいなと思います。それと趣味のページ？（車、アニメ、心霊スポット e t c）みたいのを作って、もっと市内の人と盛り上がりたいのですが、アナログ人間の私にとっては少々敷居が高く感じて二の足を踏んでしまいます。ネタはいくらでもあるので、サクサクッと作れるようなシステムの補助があればな、とも思いました。あとHCCのホームページにあるWe a r e 美唄人や、まちBBSみたいなものあれば、知り合いを探せたり、携帯から最新的话题を書き込んだり調べられたりできて、出先でも重宝しそうです。
- 過去のブログ記事を参照する時、1項目と言うか、ページごとの立ち上がりなのでページごとにクリックしなければ前後を見れないので不便に思う。カテゴリーごと、もしくは何日か分の記事を連ねて表示されると一気に読みやすい。

- 美唄はビバイって読むんですね。北海道の地名はおもしろいですね。HP は白と青ですっきりとして爽やかな感じです。内容も美唄への愛を感じます。
- お得な情報満載でお願いします。
- 札幌以外の北海道情報は重要です。これからも期待します。
- P i P a は、私のなかで楽しさランキングNO1です☆美唄地域の情報が盛りだくさんで見ごたえのあるサイトです。内容もバラエティに富んでいてスタッフの方の熱意がびしびし伝わります。特に美唄の美味しいものの情報は食いつきどころ満載で、しかも～中身が濃いですね！とても役立ちます！サイトの綺麗な画像・色使い、温かで見やすい構成を拝見していると、気分はすっかり旅行モードに……。これからも旬の情報を心待ちにしています。
- 美唄って「びばい」とすんなり読める人が少ないと思うので、美唄市の知名度UPの為にサイト名が書いてあるTOP バナー（でいいのかな？）の英語の～BIBAI だけを出来るならひらがな・カタカナのどちらかの表記に変更した方が良いと思う。
- この取り組みはとてもいいと思います。このホームページを見て、他の情報も調べてみたいと思ったりで、親近感が沸きました。これからも応援しています。
- 他のHPと比べると良く更新されているなあ～と思います。イベント情報は、大変参考になります。これからも、より良い情報をよろしくお願い致します！！
- 幅広い情報があると楽しく見る機会も増える私であります。地方ならではの情報ももっとあったら嬉しいです！
- 今回焼き鳥情報がほしくて拝見いたしました。これからも活用させていただきますので、更新を楽しみにしています！
- 北海道からの情報は楽しいですのでこれからも情報提供よろしくね。また遊びに来ますね。
- 美唄市の知名度アップのため頑張ってください
- 今後の発展に期待！
- 初めて拝見しました 今まで自然が素晴らしい印象はありましたがどちらかと言うとどうしても富良野が印象強く余り関心がありませんでした でも最近焼きそばで全国区に話題が広がりましたよね やはり情報は大事です 沢山美味しそうな物も発見しました 私は取り寄せが大好きでよく注文します ただやはり運賃が問題で道外でクールでとなると厳しい時があります しかし美味しくてまた購入したいとか贈答となると使用しますね まず食べて貰ってファン沢山作っていくです 魅力的な品も沢山ありました 同じ商品のセットだけではなく美唄セットで色々試せる物はどうか
- 美唄の情報がわかりやすく、そして面白く伝えられており大変勉強になります。
- 以前、美唄に観光で訪れてから、インターネットでこのPiPaを知って最近ちょくちょく拝見させていただいてます。
- とても有意義な情報が豊富で、楽しく参考になり、興味を持っています。

2 自律的・継続的運営の見込み

平成 19 年度～21 年度に構築した各サブシステムについて、平成 22 年度には地域 ICT 利活用モデル推進協議会を解散し、今後の運営に向けた検討を行うため、PiPa 運営協議会（仮称）を発会します。3 ヶ年の開発運営期間のなかで培ったノウハウから実践に向けた体制の確保を行ったうえで、事業に参加していただける会員を募集、それぞれが主体となる担当事業の振り分けなどを行います。システム運用における事業者は民間に移行する予定です。

システム運営は美唄市が業務を委託するのではなく、当初のビジネスモデルにもあるように、システムにおける利活用の権限と各システムの利用権を期間譲渡した上で、完全な民間資本による事業運営を目指します。運営事業者は本事業における地域活性化のモデルを他地域に展開することでの総務省が提唱した地域 ICT 利活用モデル構築事業のビジネスモデルを忠実に推進し、事業運営を行う予定です。運営方法及び費用負担等については PiPa 運営協議会（仮称）等と協議を行いながら進めてまいります。

【開発システム】

・ポータルサイト

- 情報提供・収集サブシステム（平成 19 年度）
- 情報提供・収集サブシステム携帯電話対応（平成 21 年度）
- ブログサブシステム（平成 20 年度）
- ブログサブシステム携帯電話対応（平成 21 年度）
- ブログサブシステム（平成 20 年度）
- 地域交流コミュニケーションサブシステム（平成 19 年度）
- 地域交流コミュニケーションサブシステムオープン化（平成 20 年度繰越）
- 地図基本サブシステム（平成 20 年度）
- 地図基本サブシステム（移住支援）（平成 20 年度）
- 地図基本サブシステム（地図図形表示機能追加）（平成 20 年度繰越）
- 顔の見えるインターネット直売サブシステム（平成 19 年度）
- 顔の見えるインターネット直売サブシステム携帯電話対応（平成 21 年度）
- 産業支援サブシステム（平成 20 年度）
- 申請受付サブシステム（平成 21 年度）
- 簡易アンケート作成サブシステム（平成 21 年度）
- メールマガジン配信サブシステム（平成 20 年度繰越）
- グリーンツーリズム支援サブシステム（平成 20 年度繰越）
- 農産品高付加価値化支援サブシステム（平成 20 年度繰越）
- 地域連携サブシステム（平成 20 年度）

・直売所支援システム

- 農産品・特産品販売管理サブシステム（平成 19 年度）

農産品・特産品販売管理サブシステム(トレーサビリティ機能) (平成 20 年度)
農産品・特産品販売管理サブシステム(POS 大口注文対応機能) (平成 20 年度繰越)

・運営主体

民間の事業運営会社

・運営協議会

P i P a 運営協議会 (仮称)

(運営協議会は、市、ポータルサイト会員、地域 I C T 利活用モデル構築事業推進協議会構成団体等と呼びかけて平成 22 年度に発会予定)

3 今後の展開方針

(1) 平成 22 年度以降の自律した継続運営実現のポイント

- ①美唄市地域 ICT 利活用モデル構築事業運営協議会を柱とした広告収入を得るための継続連携
 - ・美唄市と商工会議所、地元の商店街や産業振興団体等が連携し、地元個店や商品を対象とした安価な広告費 (広告主の負担を軽減) による継続的かつ多角的な広告収入支援
 - ・ホームページを持たない地元商店や企業を対象にした広告環境の提供 (ブログ、メルマガ等)
 - ・広告効果とメリット拡大に向けた取り組みの推進 (SNS、Web アンケート、ログ分析のマーケティング利活用)
- ②広告主の多様化したニーズに対応した多様な広告メニュー
 - ・地元商店や企業を対象とした豊富な広告メニュー (バナー広告、テキスト広告、動画広告等)
 - ・地元商店や企業のみならず、ナショナルブランドからの広告取得可能な仕組みの提供 (地域間情報連携と移住コンテンツ、Web アンケート、申し込み受付)
- ③コンテンツ更新費用削減に向けた取り組みの推進
 - ・美唄ファンの視点を重視した市民 (美唄にゆかりのある方々を含む) 参加型による、新鮮な記事更新の仕組みの提供と推進 (記事投稿、公共利用端末)
 - ・広報活動等による地元住民利用の活性化に向けた周知の推進
- ④バーチャルとリアル融合による地域活性化の取り組みの推進
 - ・これまで地域 I C T 利活用モデル構築事業に取り組む中で、関係団体等とのネットワーク化が図られ、様々な地域活性化のリアルな取り組みに発展し、その取り組みをポータルサイトに紹介することにより、新たな美唄の魅力の発信・交流につながったことから、こうした取り組みをさらに推進していく。
- ⑤デバイドの解消
 - ・蓄積された情報を受け取ることの出来る環境の増強とユーザインタフェースのリアル化 (携帯電話対応、公共利用端末の設置、地図登録機能)

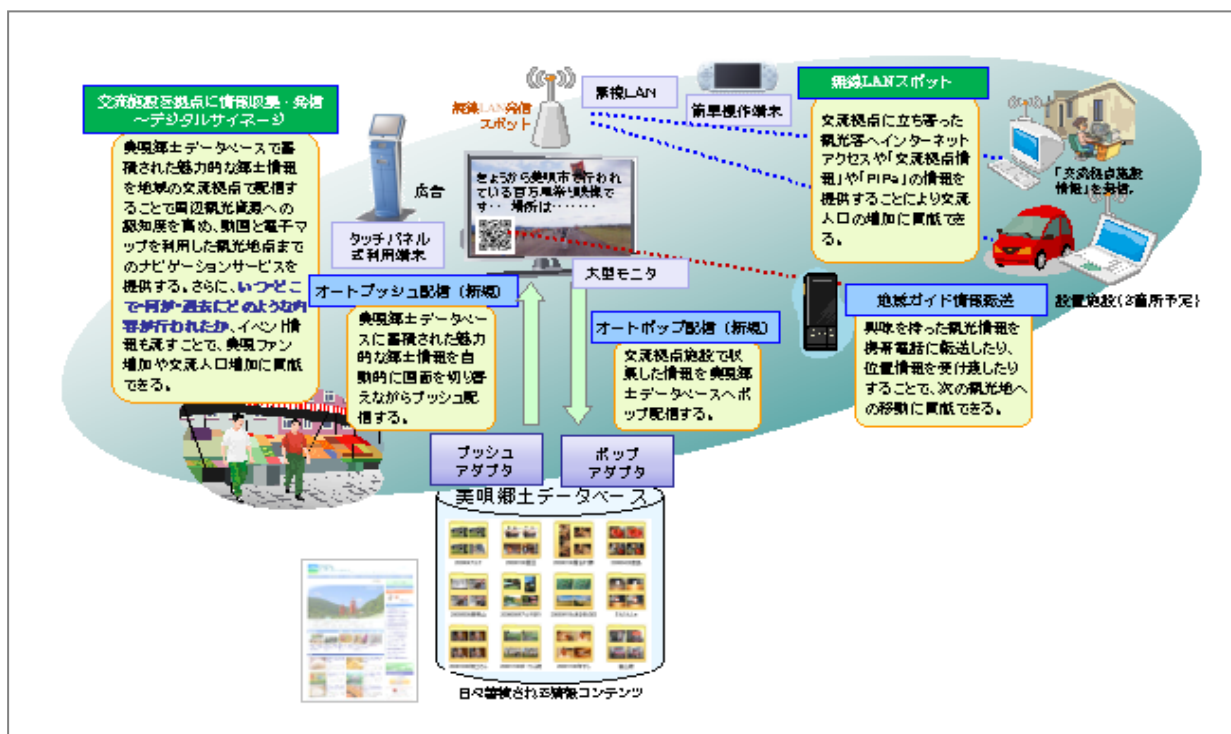
⑥ 本事業の他地域展開

- ・ 事業運営により蓄積された運営ノウハウを他地域に展開し、事業拡大を図る

(2) 地域情報通信技術利活用推進事業との連携

平成 21 年度において、美唄市の第三セクターが申請を行っている「クラウド型交流拠点ネットワーク構築事業」（地域情報通信技術利活用推進事業交付金活用）との連携により、交流拠点施設における情報発信を促進するとともに、交流拠点間のネットワークを構築します。各拠点には情報端末を設置し、美唄の魅力が蓄積された本事業のデータベースからの映像をプッシュ型で配信します。近隣観光のナビゲーションや無線 LAN によるフリースポット接続環境などのサービスは、本事業を補完しさらに拡充するものです。

クラウド型交流拠点ネットワーク構築事業イメージ



(3) 地域 ICT 利活用モデル構築事業で構築した各サブシステムの運用

地域 ICT 利活用モデル構築事業で構築した各システムについては、総務省では、その成果物を広く他の団体に周知・提供することにより「地域 ICT 利活用モデル」の全国展開を促進することとしており、この一助として、次の基本的な考え方に基づき、自律的・継続的運営に向けて取り組んでまいります。

【基本的な考え方】

構築したシステムの運営主体等を振り分けた上で、市、PiPa 運営協議会（仮称）及び民間等との役割分担に取り組む中で、自律的・継続的運営及び構築した各システムを広める取り組みを推進していく。

具体的には、地域 ICT 利活用モデル構築事業で構築した①美唄ファンポータルサイト P i P a 及び②顔の見えるインターネット直売サブシステムについては、次の考え方に基づいて取り組んでまいります。

①美唄ファンポータルサイト P i P a

- ・サーバ管理及びシステム運用等は、民間（民間会社又は NPO 法人等）に移行する。

移行条件として、モデルシステムを他自治体等に広める活動をしてもらう。ただし、システムのソフトは無償とするが、導入自治体での導入費用（コンテンツ作成費、サーバリース料、ハード・ソフト保守管理費等）は有償で行うことを許諾する。

移行を受けた民間（民間会社又は NPO 法人等）は、モデルシステムを他自治体等に売り込む活動（営業）を行い、導入を促進させていく役割を担う。

- ・市は、ポータルサイトが絶えず会員による交流で賑わっている状態（サイトの活性化）を作る役割を担う。

移行を受けた民間（民間会社又は NPO 法人等）が、モデルシステムを他自治体等に導入する活動を行い、市はポータルサイト PiPa が地域ポータルシステムとして導入価値の高いシステムであるという「広告塔」の役割をしっかりと担うこととする。（こんなにたくさんの人がアクセスして、賑わっているサイトなら、わがまちにも導入したいと思わせる役割を担う。また、その役割を担うことが、同時に、美唄市の地域ポータルサイト「PiPa」が活性化する取り組みを継続的に行うことにつながる。）

このポータルサイト「PiPa」の活性化づくりの役割は、新年度に設立する PiPa 運営協議会（仮称）が市とともに担うこととする。

- ・ このように、市は民間（民間会社又は NPO 法人等）に営業収入を得る機会を与え、その代わりにサーバ管理及びシステム運用等を低減してもらう。

平成 22 年度は、上記の考え方に基づき、各々の役割を担いながら、モデルシステムの他地域への導入促進と自律的・継続的な運営を目指して取り組んでまいります。

【美唄ファンポータルサイト P i P a】

関連するサブシステム

情報提供・収集サブシステム（H19）

交流コミュニケーションサブシステム（H19）

ブログサブシステム (H20)
地域ポータル連携サブシステム (H20)
産業振興支援サブシステム (H20)
地図基本サブシステム (H20)
メールマガジンサブシステム (H20 繰越)
グリーンツーリズム支援サブシステム (H20 繰越)
農産物高付加価値化支援サブシステム (H20 繰越)
簡易アンケート作成サブシステム (H21)
申請受付サブシステム (H21)

②農産物・特産品販売管理サブシステム

・運営主体

システムを利用する団体

H21 年 11 月現在の利用団体は 2 団体

(地場産品アンテナショップ PiPa、農産物直売所びばま〜と)

・取り組む内容

システム利用者の増の取り組み、直売所等の販売額の増の取り組み、農業者・事業者が主体となった推進組織の構築など

・運用費負担

システムを利用する団体

上記のとおりそれぞれの機能の役割や運営主体及び運用費負担者等を明確にすることで、自立的・継続的な運営を行います。

(4) Virtual (ICT) と Real (事業・人) の融合による地域活性化

平成 19 年度から取り組んできた地域 ICT 利活用モデル構築事業による地域活性化の取り組みの成果として、①農産物や特産品の PR・販売拠点となる地場産品アンテナショップの開設、②市及び関係団体の取組みと ICT の融合による食にこだわったまちづくり事業の推進、③④⑤市内関係団体との連携事業による地域活性化などの展開が図られました。

以下、具体的な事業概要と効果について記載します。

①地場産品アンテナショップの開設

これまでポータルサイト上で収集した農産物・特産品や観光資源などの地域資源を PR 及び販売する拠点施設として、地場産品アンテナショップ PiPa を市内の基幹道路である国道 12 号線沿いに平成 21 年 7 月に開設しました。

アンテナショップには、農業者や特産品事業者など 35 事業者が参加し、市及び観光物産協会

の連携により運営を行っており、オープンの7月から3月までの9カ月の販売額は16,348千円、来店者は延べ1万3,875人と順調な運営を行っております。

これまでの既存の農産物直売所は冬期間は全て閉鎖されていましたが、地場産品アンテナショップは冬期間も営業を行うため、冬期間の農産物販売及び農産加工品などの開発・販売の実証の場として機能することが期待されており、生産者の生産意欲等も向上しています。

②食にこだわったまちづくりの推進

美唄市においては地域ICT利活用モデル構築事業を始め、農産物高付加価値化推進事業、地場産品アンテナショップ運営事業、食をテーマとした交流施設整備検討事業、食育推進事業、グリーンツーリズム推進事業など、様々な「食」に関連した事業が進められています。

これらの関連事業は、以前は事業毎に推進されることが通常でしたが、地域ICT利活用モデル構築事業における郷土情報DBの集約をきっかけとして、これら関連事業の連携が促進されました。

平成21年度からは「食」に関連した事業間の連携をさらに深め、農業を取りまとも食をテーマとしたまちづくりを推進するため、新たに「食にこだわったまちづくり推進事業」が始動し、市の食関連事業間の連携や情報発信等について、ICTの利活用を図っていくこととしています。

③市内関係団体との連携事業1

地域ICT利活用モデル事業における郷土情報DBの集約をきっかけとして、市内団体の連携が促進され新たな事業展開が図られるなどの事業効果がいくつかありました。

具体的な取組みの一例としては、市のグリーンツーリズム実践団体で構成される美唄グリーン・ツーリズム研究会と市内の芸術文化交流施設であるアルテピアッツァ美唄を運営するNPOアルテピアッツァ美唄とが連携し、半農・半アート（農業体験と芸術体験）という視点での体験メニューの開発などがプロジェクトとして進められ、今年2月には実験事業として「心を耕すモニターツアー」が実施され、市外から11人が参加して好評を得るなど、美唄の新たな魅力づくりに発展しました。また、このことをポータルサイト「PiPa」で紹介することにより、美唄の新たな魅力の発信につながりました。

④市内関係団体との連携事業2

平成21年7月に市及び市内の観光関係事業者、農業生産者、観光物産協会、大学、学識有識者などから構成される「地域の魅力まるごとブランド化検討委員会」が組織され、美唄の産業や観光資源、イベント、歴史、文化、食などのあらゆる地域資源を活用し、美唄ならではの交流を促進するための取り組みが始まりました。

検討委員会で行うRealな取り組み（地域資源の発掘や磨き上げ）をICTの利活用（地域資源のDB化や情報発信）で増幅することで、魅力ある地域づくりの実現に取り組んで参りたいと考えています。

以上、平成19年度から実施している地域ICT利活用モデル構築事業の取り組みにより、

Virtual (ICT) から Real (事業・人) への発展や Virtual (ICT) と Real (事業・人) の融合により、「美唄郷土情報による地域活性化モデル事業」が着実に推進されており、平成 22 年度以降も引き続き、3 ヶ年のモデル事業で構築した各システム及び関連事業及び関係団体等との連携により、ICT の利活用による地域活性化を図って参りたいと考えております。

<実施体制説明書>

1 実施体制

美唄市 I C T利活用モデル構築事業推進協議会

(目的)

情報通信システムの仕様の決定のほか、構築したモデルを継続的に運用するための体制、費用負担の在り方、モデル運営による課題解決のための具体的な行動計画、役割分担等について検討

美唄市

農政部門、交流観光部門、産業振興部門、情報部門など

生産者団体や移住団体等

美唄観光物産協会、美唄地産フード研究会、美唄こめこ研究会、おいで菜祭、農産物農産直売所びばま〜と、中村えぶろん倶楽部、ピュアファクトリー、ライスクラップ農協青年部、元氣招会、青年会議所、気ままな主婦の会、農協蔬菜部会、美唄市新産業創造研究会、美唄市移住・定住推進協議会、美唄グリーン・ツーリズム研究会、地場産品アンテナショップ出店者協議会、地域の魅力まるごとブランド化検討委員会など

有識者・オブザーバー等

北海道企画振興部、北海道空知支庁地域振興部、地域振興・移住・ブランディング・ポータルサイト等に係る有識者など

2 各主体の役割

NO	氏名・団体名	役 割
1	美唄市	実施主体。協議会の運営
2	美唄観光物産協会	美唄の観光物産品についての広報活動や実績から本事業への助言及び協力。
3	美唄地産フード研究会	地産地消の取組や加工品開発などについて助言及び協力。
4	美唄こめこ研究会	農産加工品などについての効果的利用法及び研究成果の活用などについて助言及び協力。
5	おいで菜祭	観光農園、農産物直売などの運営実績から本事業へ助言及び協力。
6	農産物農産直売所びば ま〜と	観光農園、農産物直売などの運営実績から本事業へ助言及び協力。
7	中村えぶろん倶楽部	農産加工品などについての効果的利用法及び研究成果の活用などについての助言及び協力。
8	ピュアファクトリー	観光農園、農産物直売などの運営実績から本事業へ助言及び協力。
9	ライスクラップ	農産品直売、インターネット販売などについての助言及び協力。
10	美唄市農協青年部	安全・安心な特色ある農産品の確保や効果的な販売方法などについての助言及び協力。
11	元氣招会	安全・安心な特色ある農産品の確保や効果的な販売方法、インターネット販売などについての助言及び協力。
12	美唄青年会議所	美唄の地域資源 PR、ブランディング等についての実績から本事業への助言及び協力。
13	気ままな主婦の会	農産加工品などについての効果的利用法及び研究成果の活用などについての助言及び協力。

14	美唄市農協蔬菜部会	安全・安心な特色ある農産品の確保や効果的な販売方法などについての助言及び協力。
15	美唄市新産業創造研究会	産業振興に係る企業間の連携や企画等についての助言及び協力。
16	美唄市移住・定住推進協議会	移住・定住に係る関係機関の連携や企画等についての助言及び協力。
17	美唄グリーン・ツーリズム研究会	グリーンツーリズムに係る関係機関の連携や企画等についての助言及び協力。
18	地場産品アンテナショップ出店者協議会	農産物、特産品に係る地場産品アンテナショップの運営実績から本事業へ助言及び協力。
19	地域の魅力まるごとブランド化検討委員会	観光資源、イベント、歴史、文化、食などの地域資源を活用したブランド化についての助言及び協力。
20	北海道企画振興部 IT バイオ振興局情報政策課 (オブザーバー)	共同アウトソーシング、地域プラットフォームの観点からシステム構築方法についての助言。
21	北海道空知支庁地域振興部 (オブザーバー)	地場産業、農業、企業間の協働および連携についての効果的活用などの助言。
22	地域振興・移住・ブランディング・ポータルサイト等に係る有識者 (有識者)	地域振興や移住促進、ブランディング促進、ポータルサイト運営等に係る助言。

参考：協議会等の開催状況

第8回協議会（平成22年1月29日開催予定）

主な議題・①事業経過報告、②H22年度開発システムの概要、③H22年度以降の運用体制等について

第3回協議会有識者会議（平成22年3月30日開催予定）

主な議題・・①事業経過報告、②H22 年度開発システムの概要、③H22 年度以降の運用体制等について

第 9 回協議会（平成 22 年 3 月 30 日開催予定）

主な議題・・①事業経過報告、②H22 年度開発システムの概要、③H22 年度以降の運用体制等について

（協議会構成団体とのシステム打ち合わせ）

美唄市移住定住推進協議会（平成 21 年 6 月 3 日）

主な議題・・①H21 年度の事業概要について

地場産品アンテナショップ出店者協議会（平成 21 年 7 月 6 日）

主な議題・・①農産品・特産品販売管理サブシステムについて

美唄グリーン・ツーリズム研究会（平成 21 年 9 月 15 日）

主な議題・・①グリーンツーリズム支援システムについて

農産物農産直売所びばま〜と（平成 21 年 10 月 15 日）

主な議題・・①農産品・特産品販売管理サブシステムについて

美唄市移住定住推進協議会（平成 21 年 11 月 24 日）

主な議題・・①移住コンテンツの充実について

地域の魅力まるごとブランド化検討委員会（平成 21 年 11 月 26 日）

主な議題・・①グリーンツーリズム支援システムについて、②コンテンツの充実について

グリーン・ツーリズム研究会（平成 21 年 12 月 18 日）

主な議題・・①グリーンツーリズム支援システムについて

事業実施進行表

実施内容(H21)	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	H22 1 月	2 月	3 月
協議会開催										▲		▲
		※部会は随時開催										
システム基本設計		→										
システム詳細設計				→								
コンテンツ設計、取材		→										
システム開発						→						
開発システム稼働									→			
											※完了後順次稼働	
H19 年度システム運用									→			
報告書作成									▲			▲

その他

本事業により構築したウェブサイト又は本事業を掲載したウェブサイト

[1] <http://www.pipaoi.jp/> [美唄ファンポータル「PiPa」]

平成21年度地域ICT利活用モデル構築事業 システム設計書

実施団体名： 美唄市

代表団体名： 同上

事業名称： 美唄郷土情報による地域活性化モデル事業

1 概要

地域の魅力ある農産物・特産品などの知名度を向上し、地域の活性化を図るべく、平成19年度に「美唄ファンポータル PiPa」（以下 PiPa）を構築いたしました。PiPa では、美唄市の農産物・特産品の魅力や歴史、生産者の思いなどを伝え、ブログやSNSで地域交流を可能とするなど、美唄ファンによるまちおこしを推進しています。平成21年度事業（H20 繰越）で構築した主なサブシステムは「グリーン・ツーリズム支援サブシステム」「農産品高付加価値化支援サブシステム」「メールマガジン配信サブシステム」の3つ、機能追加は「POS 大口注文対応」および「公開コミュニティ機能」です。平成21年度の主な新規サブシステムは「簡易アンケート作成サブシステム」、「申請受付サブシステム」の2つ、機能追加では携帯電話版ポータルを構築いたしました。

2 運用結果

昨今の利用が進む携帯電話での機能追加は、直売所での販売商品からトレーサビリティ情報の確認→ネット上での商品とリピーターを取り込むサイクルが完成し、意義は大きいと考えます。また競争が激化しているSEOに関しても携帯WEBでの地方情報はまだ露出度を向上させる余地は大きいと考えております。また観光客を取り込むうえで体験周遊のルート整備は課題でありましたが、このたびシステム化により、地域の魅力を掘り起こすリアルな活動に結びついたことは、システム化の想定外な効果でした。またアンケートの収集や申し込みの受付、メールマガジンの配信など、利用者へのサービス提供のツールに関しては、バランスよく揃ったのではと考えています。利用者が増加することの相乗効果で、より地域が活性化することを期待しています。

3 課題・改修の必要性

現在のシステムにおいて、利用しやすさや機能の完成度、機能性デザインなどによる小さな課題は存在します。しかし今後の運営に向けた一番重要な課題は、地域活性化のプラットフォームとして PiPa をどのように活性化させていくかというソフト面の方向性や、利用する会員である各主体が、今後における PiPa の運営にどのような形でたずさわっていくのかを検討し、農業、食、商工業などの各主体がそれぞれの立場から PiPa を強力に支援する人的なネットワークを活用した仕組みづくりを形成することが必要です。今後、事業に係わる関係者との協議において地域活性化活動の一環として PiPa への具体的な行動指針を検討することと考えます。

4 その他

特になし。